



平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月8日

上場会社名 ぴあ株式会社

上場取引所 東

コード番号 4337 URL <http://corporate.pia.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢内 廣

問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート統括 (氏名) 吉澤 保幸

TEL 03-5774-5278

四半期報告書提出予定日 平成30年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	95,068	10.3	851	26.2	815	19.8	546	23.4
30年3月期第2四半期	86,225	11.1	674	37.3	680	37.5	442	39.7

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 562百万円 (24.0%) 30年3月期第2四半期 453百万円 (38.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	39.21	—
30年3月期第2四半期	31.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	56,343	6,492	11.4	466.01
30年3月期	55,488	7,329	13.1	518.84

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 6,406百万円 30年3月期 7,252百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	3.00	—	13.00	16.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年 3月期の連結業績予想(平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	165,000	0.9	1,250	2.0	1,200	2.3	700	0.9	50.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(注) 詳細は、決算短信(添付資料) 9 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期2Q	14,649,513 株	30年3月期	14,649,513 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

31年3月期2Q	902,909 株	30年3月期	671,647 株
----------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

31年3月期2Q	13,937,676 株	30年3月期2Q	14,113,328 株
----------	--------------	----------	--------------

(注) 株主資本において自己株式として計上されている役員株式給付信託(BBT)が保有する当社株式は、1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料) 3 ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第 2 四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第 2 四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善等により、緩やかな回復基調が続いているものの、相次ぐ自然災害や海外経済の不確実性などから、依然として先行き不透明な状況にあります。国内レジャー・エンタテインメント市場におきましては、“コト消費”ニーズの高まりを背景に、近年の増加トレンドを維持し堅調に推移しました。

このような状況下、新たな中期経営計画の初年度にあたる、当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、音楽・スポーツ・イベントジャンルを中心にチケット販売が引き続き好調に推移し、第2四半期連結売上高としては過去最高を記録するなど、増収・増益となりました。

以上の結果、当社グループの第2四半期の業績は、連結売上高950億68百万円(対前年同期比110.3%)、営業利益8億51百万円(同126.2%)、経常利益8億15百万円(同119.8%)、親会社株主に帰属する四半期純利益5億46百万円(同123.4%)となりました。

売上に貢献した主なイベントや商品は次のとおりであります。

<イベント>

「B'z」

「松任谷由実」

「シルク・ドゥ・ソレイユ キュリオス」

「ap bank fes'18」

「嵐のワクワク学校 2018」

「ROCK IN JAPAN FESTIVAL 2018」

「長渕剛」

「Taylor Swift」

「Perfume」

「Mr. Children」

「Paul McCartney」

「UVERworld」

<商品>

「夏ぴあ」「秋ぴあ」(首都圏版/関西版/東海版)

「パンダと犬」

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、563億43百万円となり、前連結会計年度末と比較して8億55百万円増加いたしました。流動資産は462億84百万円(前連結会計年度末比6億60百万円減)となりました。変動の主なものは、現金及び預金の増加(同67億26百万円)、受取手形及び売掛金の減少(同75億82百万円)であります。また、固定資産は100億59百万円(前連結会計年度末比15億15百万円増)となりました。

負債は、498億51百万円となり、前連結会計年度末と比較して16億92百万円増加いたしました。流動負債は479億34百万円(前連結会計年度末比3億36百万円増)となりました。変動の主なものは、買掛金の減少(同29億18百万円)、前受金の増加(同13億55百万円)と預り金の増加(同13億48百万円)であります。固定負債は19億17百万円(前連結会計年度末比13億55百万円増)となりました。変動の主なものは、長期借入金の増加(同13億50百万円)であります。

純資産は、64億92百万円となり、前連結会計年度末と比較して8億37百万円減少いたしました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益5億46百万円の計上と配当金1億82百万円の支払による減少等により利益剰余金が3億63百万円増加したこと、自己株式の取得12億17百万円の支出により減少したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して67億26百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末は253億9百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは92億14百万円の収入(前年同四半期は51億17百万円の収入)となりました。この主要因は、税金等調整前四半期純利益が8億15百万円、売上債権の減少が75億82百万円、仕入債務の減少が29億18百万円であったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは24億44百万円の支出（前年同四半期は8億80百万円の支出）となりました。この主要因は、有形固定資産の取得による支出が11億31百万円、無形固定資産の取得による支出が12億47百万円であったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは43百万円の支出（前年同四半期は10億6百万円の支出）となりました。この主要因は、長期借入金による収入が13億50百万円、自己株式取得による支出が12億17百万円、配当金の支払による支出が1億75百万円であったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、前回公表の予想数値に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (2018年 9 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,582	25,309
売掛金	25,287	17,704
商品及び製品	134	115
仕掛品	6	5
原材料及び貯蔵品	9	8
その他	2,712	3,168
貸倒引当金	△34	△26
流動資産合計	46,698	46,284
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	67	62
工具、器具及び備品（純額）	512	450
土地	6	6
その他	773	2,045
有形固定資産合計	1,359	2,564
無形固定資産		
ソフトウェア	2,359	3,389
ソフトウェア仮勘定	1,492	458
その他	59	59
無形固定資産合計	3,911	3,907
投資その他の資産		
投資有価証券	745	804
その他	3,082	3,175
貸倒引当金	△309	△392
投資その他の資産合計	3,518	3,587
固定資産合計	8,789	10,059
資産合計	55,488	56,343

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (2018年 9 月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	41,326	38,407
未払金	2,516	2,667
未払法人税等	94	364
賞与引当金	8	178
返品調整引当金	562	300
その他	3,088	6,015
流動負債合計	47,597	47,934
固定負債		
長期借入金	—	1,350
退職給付に係る負債	102	106
資産除去債務	64	64
その他	395	396
固定負債合計	561	1,917
負債合計	48,158	49,851
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,903	4,903
資本剰余金	1,084	1,084
利益剰余金	3,796	4,160
自己株式	△2,488	△3,705
株主資本合計	7,295	6,442
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28	31
為替換算調整勘定	△60	△62
退職給付に係る調整累計額	△10	△4
その他の包括利益累計額合計	△43	△36
非支配株主持分	77	86
純資産合計	7,329	6,492
負債純資産合計	55,488	56,343

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 2017年 4 月 1 日 至 2017年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2018年 4 月 1 日 至 2018年 9 月30日)
売上高	86,225	95,068
売上原価	79,883	87,767
売上総利益	6,341	7,300
返品調整引当金戻入額	475	562
返品調整引当金繰入額	401	300
差引売上総利益	6,415	7,562
販売費及び一般管理費	5,740	6,710
営業利益	674	851
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	7	7
諸債務整理益	1	2
持分法による投資利益	4	9
その他	1	0
営業外収益合計	14	20
営業外費用		
支払利息	2	0
有価証券評価損	2	—
支払手数料	—	48
その他	4	7
営業外費用合計	9	56
経常利益	680	815
特別利益		
固定資産売却益	8	—
特別利益合計	8	—
税金等調整前四半期純利益	689	815
法人税等	238	259
四半期純利益	450	555
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	442	546

(四半期連結包括利益計算書)
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 2017年 4 月 1 日 至 2017年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2018年 4 月 1 日 至 2018年 9 月30日)
四半期純利益	450	555
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	2
為替換算調整勘定	△0	△0
退職給付に係る調整額	7	6
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△1
その他の包括利益合計	3	7
四半期包括利益	453	562
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	446	553
非支配株主に係る四半期包括利益	7	9

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 2017年 4 月 1 日 至 2017年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2018年 4 月 1 日 至 2018年 9 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	689	815
減価償却費	373	594
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	16	75
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△300	169
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△74	△262
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	7	10
受取利息及び受取配当金	△7	△7
支払利息	2	0
投資有価証券評価損益 (△は益)	2	—
固定資産売却損益 (△は益)	△8	—
持分法による投資損益 (△は益)	△4	△9
売上債権の増減額 (△は増加)	1,749	7,582
たな卸資産の増減額 (△は増加)	66	21
前渡金の増減額 (△は増加)	262	138
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,411	△2,918
未払金の増減額 (△は減少)	218	1,021
前受金の増減額 (△は減少)	△1,954	1,355
その他	△991	700
小計	5,458	9,288
利息及び配当金の受取額	8	9
利息の支払額	△2	△1
役員退職慰労金の支払額	△4	—
法人税等の支払額	△342	△82
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,117	9,214
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の売却による収入	9	—
有形固定資産の取得による支出	△191	△1,131
無形固定資産の取得による支出	△685	△1,247
投資有価証券の取得による支出	—	△49
長期前払費用の取得による支出	△11	△15
その他	△1	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△880	△2,444
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	1,350
長期借入金の返済による支出	△20	—
配当金の支払額	△228	△175
自己株式の取得による支出	△789	△1,217
自己株式の処分による収入	35	—
その他	△4	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,006	△43
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,230	6,726
現金及び現金同等物の期首残高	18,851	18,582
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,081	25,309

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、一部の連結子会社を除き、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年9月30日)

当社グループは単一の報告セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

当社グループは単一の報告セグメントであるため、記載を省略しております。